



▲煙中体験



▲初期消火訓練

地域防災ネットワークプロジェクト訓練とは、セーフコミュニティ『災害時の安全対策委員会』での取り組みの一端で、小学生のうちから防災に対する意識の高揚を図ることを目的としています。

また、地域内の町会連合会、教育委員会、小学校、消防団、婦人防火クラブ連合会、自主防災組織などが連携をとり、協力し合って地域ぐるみの防災訓練として平成24年度から毎年3校ずつ、市内小学校を会場として実施しています。

小学生対象に防災意識の高揚 地域防災ネットワークプロジェクト訓練



「SCマンスリーまつばら」は、世界標準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていたいただくための連載です。

▼問合せ 市民協働課

体験、煙中体験、放水体験、水消火器を使用した初期消火訓練、心肺蘇生法訓練、非常食炊き出し訓練を各ブースに分かれて行い、地域の皆さんが主体となり運営されています。さらに、訓練にあわせてアンケートを実施し、各地域における防災対策や住民意識の調査を行い、『災害時の安全対策委員会』で検証し、今後の取り組みに活かしていきます。

地域の防災訓練に参加しましょう

市内では、自主防災組織が20団体結成されており、地域が主体となった防災訓練を各地区で活発に実施しております。

お住まいの地区で行われる訓練には、積極的に参加しましょう。
問合せ 危機管理課

タオル運動および両隣声かけ運動をご存じですか？

セーフコミュニティ『災害時の安全対策委員会』では、阪神・淡路大震災や東日本大震災などを教訓として、高齢者など災害弱者の逃げ遅れによる被害を防ぐため、迅速な安否確認作業を行う、「タオル運動」と「両隣声かけ運動」を推進しています。

タオル運動とは

災害時には、この家には救助を必要とする者はいないことを示すために、玄関や門扉など外から一目でわかる場所にタオルをくくりつける運動です。右写真のように、タオルをくくりつける、挟み込むなどしてください。



▲タオル運動

両隣声掛け運動とは

避難する際に、自宅の両隣にも、『無事ですか？一緒に避難しませんか？』と声をかける運動です。無事が確認できれば、タオルをくくりつけて、この家は無事である意思表示をしてあげてください。非常時持ち出し袋にはタオルを3本ご用意ください（無事が確認できたら両隣の家にもくくりつけてください）。